

## 会山行報告書

通算山行NO	NO. 361B	報告者	後藤隆徳
年月日	2008年2月11日(快晴)	2万5千円	中川
山名	西丹沢・檜洞丸(1600m)		
体力度=5・厳しい 技術度=4・やや厳しい 藪漕度=ない 道標=ある トイレ=西丹沢自然教室 展望度=それ程悪くはない			
<b>西丹沢の本格的雪山に痺れる</b>			
コースとタイム	下土狩5:30-御殿場-谷峨-西丹沢自然教室発7:10-用木沢-犬越路9:15-檜洞丸14:40~15:00-つつじ新道-東沢-西丹沢自然教室17:45		
標高差	上り=西丹沢自然教室約550m~檜洞丸1600m=約1050m+50m(上り返し) 下り=1050m		
参加者	CL・後藤隆徳、宮川寿夫、中村圭吾、石和加代子、村上美恵子		

富士山の予定だったが、大雪・高温で山域を西丹沢に変更。雪は西丹沢自然教室付近で5~6センチ。用木沢に入るとグッと増える。前日のものと思われるトレースが犬越路に伸びていた。天気は無風快晴で絶好の登山日和。

標高900m付近でアイゼンを付ける。犬越路から檜洞丸は一人分のラッセルが細々と付いていた。大室山方面のラッセルはないので、殆どの登山者は犬越路までのようだ。

一人分のラッセルがあるとは言え、壺足では膝まで潜る。ピッチはなかなか上がらない。1288m峰でもう11時だ。この上で先行者が降りて来た。頂上は無理なので往路を下ると言う。長靴でアイゼン・ピッケルはない。ラッセルの札を言う。

ここからワカンを使用。厳しいラッセルが続く。長者舎からの2名が頂上は無理とやっぱり往路を下った。

時間が刻々と迫る。昼食は交替で摂りラッセルを続ける。それでも2月に入り、陽が長くなり行動時間は延びて助かる。

14:40待望の頂上。犬越路から5時間半だった。久しぶりの本格的雪山を味わった。雪は頂上で1m程。頂上からハイウエーを飛ばす。ああ、ラッセル道の有り難さでした。

頂上直下のラッセル





用木沢



犬越路の筆者



中村さんの  
ラッセル  
(後ろ)

つつじ新道を下る



40年使用のワカン



」